

障がい者相談支援センターからの報告（令和 4 年度第 3 回）

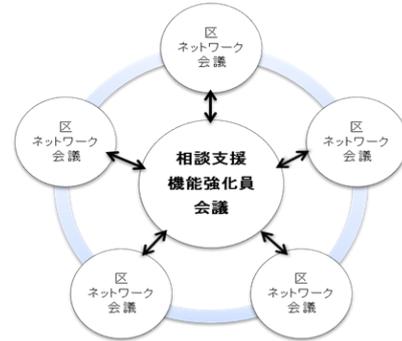
1 相談支援機能強化員会議

（1）目的

熊本市障がい者相談支援センター（9カ所）間の各区にまたがる情報共有や市全体としての対応の整合性を図る場として、各センターの相談支援機能強化員が集まる会議を毎月 1 回開催するもの。

（2）内容

- ・ 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況
- ・ 対応困難ケースへの対応、情報共有
- ・ 各種会議の出席状況、内容の共有
- ・ 市からの説明・報告事項



（3）令和 4 年度の実績

① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況

<目的>区内での相談支援の充実に向けた円滑な連携協力体制の確立

<構成>障がい者相談支援センター、各区福祉課及び保健子ども課
 指定特定相談支援事業所、その他の関係機関等

| 区 | 回数 | 内容 |
|-----|----|--|
| 中央区 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各課の活動報告と意見交換（グループワーク） ・ 医療機関との意見交換 ・ メンタルヘルスについて |
| 東区 | 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援機能強化事業の取り組み ・ 児童系事業所情報の進捗状況と今後の予定 ・ 事例検討（訪問看護との連携など） ・ 支援ケース検討 ・ 地域情報、地域生活支援拠点等についての共有 ・ ささえりあ保田荘との合同研修会 ・ 医療的ケア児への支援について実践報告 ・ 児童系事業所情報の更新について終了 ・ 福祉課より放デイへの切り替え |
| 西区 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議、部会報告 ・ 地域支援員の活動報告 ・ 日中活動系事業所フィールドワーク実施における説明、打合せ ・ 日中活動系フィールドワークの報告会 ・ グループスーパービジョン |

2 地域支援員会議

(1) 目的

障がい者相談支援センターの各圏域で実施している地域支援事業における内容の整合性、各区にまたがる情報共有等を図るため、各センターの地域支援員が集まる会議を毎月1回開催するもの。

(2) 内容

- ・各圏域における事業の進捗状況・情報共有
- ・事業の進め方における意見交換
- ・班活動（地域資源班、研修班）
- ・市からの説明・報告事項

(3) 令和4年度の実績

① 各圏域における事業の進捗状況・情報共有（抜粋）

ア 関係機関とのネットワークの構築及び連携

- ・ささえりあ（地域包括支援センター）との情報交換、連携会議、研修等
- ・生活支援コーディネーター連絡会への出席
- ・校区自治会長会議、校区民生委員児童委員協議会への出席
- ・まちづくりセンターとの情報交換、連携会議への参加
- ・教育機関との連携

イ アウトリーチの実施

- ・ささえりあや区役所保健子ども課や保護課等からの依頼によるケース対応

ウ 社会資源の情報収集や共有化、開発等

- ・福祉サービス事業所、相談支援事業所、ささえりあ、まちづくりセンターへのアンケート調査

エ 地域における障がい者等への理解促進

- ・小学校、中学校、高校、大学等での障がい者サポーター研修の実施
- ・認知症サポーター養成講座との共同開催
- ・地域への広報紙の発行
- ・サポーターワークショップへの協力

オ 災害時における障がい者等の支援体制の構築

- ・ケース防災支援（マイタイムライン等の確認：西区）
- ・地域の避難所を訪問
- ・防災座談会や防災研修会への参加

② 班活動

内容別に2班に分かれて、それぞれの班で作業実施中。

○ 地域資源班

- ・ 地域資源一覧の作成
- ・ KP5000「住まいプラグ」の活用の検討

○ 研修班

- ・ 子ども向けのサポーター研修の資料作成
- ・ 障がいの特性についての動画作成

③ その他

- ・ 障がい者相談支援センターの紹介動画の作成
- ・ 障がい者サポーターハンドブックの見直し ほか